

多様化するデイケアへの期待に応える － 日本デイケア学会 第17回年次大会の開催にあたって －

日本デイケア学会第17回年次大会 大会長 西村良二

2012年9月20日(木)・21日(金)の二日間、日本デイケア学会第17回年次大会を福岡で開催します。

近年では疾病構造の多様化とともにデイケアの多様化、専門化が必要となってきています。うつ病圏、パーソナリティ障害圏、児童思春期や認知症、発達障害などの多様な疾病に対応できる能力をデイケアは有していますが、社会のニーズ、ユーザーのニーズに応じたデイケアの在り方を考えていかなければならないことは言うまでもありません。

デイケア学会がになう課題の1つは、コミュニティケアを見据えたデイケアの在り方を見通し、デイケアが精神障害者の地域生活支援に対して価値ある存在となることだと思います。私たちはデイケアの可能性や限界を論じ合い、現在行っているデイケアを他の領域の方々にもわかりやすい言葉で伝える努力も必要と思います。説得力あるエビデンスも欠かせません。デイケアの効果を個々の症例で示すとともに、精神科医療を取り巻く利害関係者に効果を数字で示すことは重要であり、健全なデイケア医療の発展につながることは間違いありません。また、医療と介護の同時改革でデイケアの方向性はどうなるのでしょうか。デイケアの将来の方向性についても論じ合える学術集会にしたいと切に願っております。

学術総会は福岡国際会議場で開催します。初日午前中には、福岡大学名誉教授の西園昌久先生に「精神科デイケ

アの理念と現実－大学精神科での事始め」のテーマで特別講演をお願いしています。会長講演としては、「思春期のデイケアの試み」と題打って、非一精神病圏内の子どもたちの集団療法、デイケアについて話をさせていただきます。

初日の午後は、シンポジウム「高齢者・認知症デイケア・デイサービスのこれからを考える」を準備しています。

初日には、他にも、教育講演「うつ病デイケアにおける集団認知行動療法の治療効果を高める技法と有効性」の題で、仲本晴男先生にお話をさせていただきますし、伊藤弘人先生には「精神科医療政策の動向からみたこれからのデイケア」を講演させていただきます。

2日目には、シンポジウム「リワークデイケアの広がり」とアウトカム、「機能分化の利点と弱点」の2本を準備しています。また、特別講演として岡村武彦先生に「スポーツは心の病を救う－精神障害者フットサルのこれから－」、朝田 隆先生に「認知症患者にみられる生活障害とその対応」をお話しさせていただきます。教育講演も2本予定しており、神庭重信先生による「若年層のうつ病・うつ状態の理解と対応」と、池淵 恵美先生による「恋愛・結婚・子育てを支援する」の講演です。

久しぶりの福岡での開催です。皆様の大勢の参加をお待ちしています。昼間はデイケアを論じ合い、夜は中洲で山海の珍味を楽しんでいただければ幸いです。

デイ・ケアにおける平成24年度の診療報酬改定

日本デイケア学会理事長 窪田 彰

平成24年度の診療報酬改定においては、①大規模デイ・ケア等において、「疾患別等の診療計画」作成が義務づけられたこと。②重度認知症デイ・ケアに、1年間限定で2時間の夜間ケアに100点の加算が新設されたこと。③退院準備のための精神科デイ・ケア又はショート・ケアの利用を、入院中1回に限り100分の50に相当する点数が算定可能になったこと。等が大きな変更点であった。

これに加えて、重要な変更点は「1単位のデイ・ケアで、複数のプログラムを実施することは可能」と認められたという点である。これは今期の改定に伴った疑義解釈の「問161」に掲載されており「・・・診療計画に基づいてショート・ケア、デイ・ケアを提供するものすべてで評価を行い、その要点を診療録に記載している場合は、参加者を少人数に分けて、それぞれに個別のプログラムを実施することは可能か（答）可能。」となっている。

これは近年各地で、1単位のデイ・ケアにおいて複数のプログラムを別々の部屋に分かれて活動することが、地域の厚生局に認められない事例がしばしば発生していた。また、これまで診療所のデイ・ケアで、2階と3階を合わせて1単位の大規模デイ・ケアとして認められていたものが、2単位にせよと言われる事例も発生していた。この背景は、数年前に地方の厚生局からの疑義に対して「1単位のデイ・ケアは一部屋」との疑義解釈が示されたことに端を発していることが分かった。しかし、現実には50人～70人のデイ・ケアを一部屋で実施せよという方に無理があり、この様な施設基準は実態にそぐわない

と言わざるを得ない。大規模デイ・ケアでは複数の小グループにプログラムを多様化して通所者にとって通う場を選ぶことが出来るデイ・ケアを提供することが、近年の傾向であることを厚労省に示し、改正を要望してきたのであった。

これまでの筆者の理解は、「1単位のデイ・ケアが複数の部屋に分かれて活動しても良いが、各部屋ごとに1人以上の職員の配置が必要」であった。これは、平成10年以降の東京社会保険事務局から毎年発行されてきた「特掲診療科の施設基準講習会資料」に「施設の部屋数は、治療上支障がなく、当該保険医療機関内であれば、特に制限はない。」と明記されていたからであった。しかし、この基本ルールが疑義解釈で「1単位一部屋」に一方的に変えられてしまい、しかもこのように重要な制度変更が、私たちデイ・ケア活動の現場に知らされないまま運用されていたことに疑問を感じる。

今回の診療報酬改定はデイ・ケアについては小規模なものに留まった。それでも、前述した施設基準の大きな矛盾点は改正することが出来た。次期こそは、デイ・ケアの地域ケアにおける重要な役割を評価して欲しいものである。

デイケア 西から東から、北から南から…

当センターで実施している「うつ病デイケア」をとおして

富里トモ子

私は、平成 24 年 4 月に福祉保健所から当センターに異動になり、うつ病デイケアに関わるようになりました。異動になる前の保健所では、母子保健や難病の担当をしており、精神保健分野の担当は久しぶりでしたので、新鮮な気持ちでいろいろ勉強しながら取り組んでいるところです。

当センターの今年度の重点事業は、自殺予防対策事業、うつ病対策事業、精神障害者地域移行・地域定着支援事業の 3 本柱になっており、自殺予防の一環としてもうつ病デイケアは重点的に取り組んでいる事業です。

当センターのうつ病デイケアは集団による認知行動療法 (Cognitive Behavioral Therapy 以下 CBT) を中心とした内容になっており、慢性のうつ病患者が対象で、定員は 20 名、3 ヶ月 12 回を 1 クールとして毎週火曜日に設定し、これまで 21 クールを実施しています。午前中は、外部講師を招聘して陶芸や革細工、ストレッチやリラクゼーション、軽スポーツ、料理などを実施。午後は精神科医師である所長の CBT の講義の後、10 名ずつのグループに分かれてグループミーティングを行っています。グループは新規者と継続者で構成され、これまで両者を併せると 471 人が修了しています。

グループミーティングでは、毎週 CBT に基づいたホームワークの課題が課されており、1 週間の自分の気分や行動をチェック、考え方や行動の修正を行うなど報告合っていますが、週を重ねるごとに、自分自身で考え方や行動のパターン (癖) に気づき、努力して修正していく

様子がみられます。

30 代男性で、デイケアスタート当初は、医師から処方された安定剤を飲まずにストックしていて、“いつでも服薬自殺が図れる”と言っていた人が、回を重ねるごとに、自分の考え方や職場同僚や上司との人間関係に向き合い、認知の修正をすることで職場復帰と投薬終了を果たしたケースもあります。昼夜逆転で、デイケアにやっと参加していた人が、作業療法や CBT への取り組みで、自分の長所や特性に気づき、前向きになろうとしている様子、実母との関係での葛藤を抱えているケースが、仕事や自分のこどもとの関係に向き合う過程で、自分らしさや新たな自分を見つけていく様子に、私自身も深く考えさせられ学ぶものがあります。

第 1 期終了式の日、「うつは治るのか?」「治るとはどいうことか?」「元に戻ることが治るということなら治らないが、新しい自分にはなれるのでは」など深い問いかけもあり、感慨深いものがありました。第 2 期がまた 8 月から始まりますが、新しいメンバーとの出会いも含め私自身も共に学んでいきたいと思えます。

なお、当センターでは県外からの一泊研修も受け入れており、開始以来の実地見学研修者は実数で 552 人、延数で 1559 人になりますが、多職種の方々が当センターで学び、それぞれの地元でうつ病デイケアや CBT を広げています。

(保健師、沖縄県立総合精神保健福祉センター)

日本デイケア学会 第17回年次大会福岡大会のご案内

大会テーマ **「多様化するデイケアへの期待に応える」**

大会長 **西村 良二** (福岡大学医学部精神医学教室 教授)

副会長 **徳永 雄一郎** (不知火病院 院長)

佐々木 裕光 (ささき心のクリニック 院長)

河野 耕三 (河野医院 院長)

大会URL **<http://www.jpdcct17.org>**

会 期 **平成24年 9月20日(木) ~ 9月22日(土)**

※学術大会 9月20日(木) 21日(金) / 施設見学会・研修会 9月22日(土)

プログラム

学術大会 日 時: 平成24年9月20日(木)・21日(金)

会 場: 福岡国際会議場

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

TEL.092-262-4111

URL: <http://www.marinemesse.or.jp/congress/>

参加費:

会 員	当 日	8,000円
一 般	当 日	9,000円
当事者・家族・学生		4,000円

※事前参加登録は締め切りました。

今大会ホームページより当日用参加申込書がダウンロードできますので、事前にご記入いただき、学会当日、「当日参加受付」へお持ちください。

会長講演 **「思春期のデイケアの試み ~神経症圏内の子どもたちを中心に~」**

演者: 西村 良二 (福岡大学医学部精神医学教室)

座長: 窪田 彰 (医療法人社団草思会 錦糸町クボタクリニック)

特別講演 I) **「精神科デイケアの理念と現実 -大学精神科での事始め」**

演者: 西園 昌久 (心理社会的精神医学研究所)

座長: 西村 良二 (福岡大学医学部精神医学教室)

II) **「スポーツは心の病を救う ~精神障害者フットサルのこれから~」**

演者: 岡村 武彦 (特定医療法人大阪精神医学研究所 新阿武山病院)

座長: 坂井 一也 (星城大学リハビリテーション学部作業療法学専攻)

III) **「認知症患者にみられる生活障害とその対応」**

演者: 朝田 隆 (筑波大学医学医療系臨床医学域 精神医学)

座長: 浅野 弘毅 (東北福祉大学せんだんホスピタル)

教育講演

I) 「うつ病デイケアにおける集団認知行動療法の治療効果を高める技法と有効性」

演者：仲本 晴男（沖縄県立総合精神保健福祉センター）
座長：佐々木 裕光（ささき心のクリニック）

II) 「精神科医療政策の動向からみたこれからのデイ・ケア」

演者：伊藤 弘人（独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 社会精神保健研究部）
座長：原 敬造（原クリニック）

III) 「若年者のうつ病・うつ状態の理解と対応」

演者：神庭 重信（九州大学大学院医学研究院 精神病態医学分野）
座長：徳永 雄一郎（不知火病院）

IV) 「恋愛・結婚・子育てを支援する」

演者：池淵 恵美（帝京大学医学部精神神経科）
座長：河野 耕三（河野医院）

シンポジウム

I) 「高齢者・認知症デイケア・デイサービスのこれからを考える」

シンポジスト：池田 学（熊本大学大学院 生命科学研究部 神経精神医学分野）
小川 敬之（九州保健福祉大学 保健科学部 作業療法学科）
上城 憲司（西九州大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻）
司 会：尾籠 晃司（福岡大学医学部精神医学教室）
田北 昌史（田北メモリーメンタルクリニック）

II) 「リワークデイケアの広がりとアウトカム」

シンポジスト：深間内 文彦（榎本クリニック）
渡部 芳徳（ひもろぎ心のクリニック）
大木 洋子（慶應義塾大学大学院、メディカルケア虎ノ門）
司 会：五十嵐 良雄（うつ病リワーク研究会、メディカルケア虎ノ門）

III) 「機能分化の利点と弱点」

シンポジスト：船渡川 智之（東邦大学医学部精神神経医学講座）
長谷川 直実（デイケア・クリニックほっとステーション）
原 敬造（原クリニック）
窪田 彰（医療法人社団草思会 錦糸町クボタクリニック）
指定討論：榎林 理一郎（湖南クリニック）
司 会：市橋 香代（東京大学医学部附属病院 精神神経科）
榎林 理一郎（湖南クリニック）

一般演題

16セッション 65演題

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1) プログラム実践① | 2) プログラム実践② | 3) 就労支援① |
| 4) プログラム実践③ | 5) 機能分化・家族教室 | 6) 就労支援② |
| 7) プログラム実践④ | 8) プログラム実践⑤ | 9) 就労支援③ |
| 10) 運営※スタッフ取組① | 11) 運営※スタッフ取組② | 12) 個別アプローチ① |
| 13) 個別アプローチ② | 14) その他 | 15) 高齢者 |
| 16) 評価・調査 | | |

ランチョンセミナー

I 「最近の認知症における薬物治療戦略～ドネペジルの至適量は？～」

演者：中村 祐（香川大学医学部附属病院精神神経科）
座長：尾籠 晃司（福岡大学医学部精神医学教室）
共催：エーザイ(株) / ファイザー(株)

II 「デイケアで求められるSST」

演者：皿田 洋子（福岡大学人文学部）
座長：三野原 義光（油山病院）
共催：Meiji Seikaファルマ(株)

-
- ランチョンセミナー Ⅲ 「**地域精神医療におけるデポ剤の役割**」
演者：澤 温 (医療法人北斗会 さわ病院)
座長：堀川 公平 (医療法人コミュニテ風と虹 のぞえ総合心療病院)
共催：ヤンセンファーマ(株)
- Ⅳ 「**統合失調症における再発の早期徴候と早期介入**」
演者：根本 隆洋 (東邦大学医学部精神神経医学講座)
座長：池淵 恵美 (帝京大学医学部精神神経科)
共催：日本イーライリリー(株)
- Ⅴ 「**病院デイケアは地域の重要な社会資源～街で暮らすこと、そして就労支援～**」
演者：西脇 健三郎 (医療法人志仁会 西脇病院)
座長：逸見 嘉之介 (西海病院)
共催：大塚製薬(株)

※ランチョンセミナー整理券配布の予定はありません。お弁当は会場前に並んでいただき、受取っていただきます。お弁当の数には限りがありますので、予めご了承ください。

企業展示/施設展示

- スイーツ懇親会 **はかたうまカフェ ～みんな待ってっばい～**
日 時：平成24年9月20日(木) 17:00～18:00(予定)
会 場：福岡国際会議場5F 501
会 費：3,500円
定 員：200名
※事前申込み定員制です。大会HPよりお申込みください。

- 【研修会】 日 時：2012年9月22日(土) 9:30～12:00
会 場：福岡国際会議場 4F 402・403会議室および405・406会議室
参加費：学会員 2,000円 非会員 4,000円
- I) 【精神分野】「**デイケアのグループ活動の意味～プログラム運営を通して考える**」
講師 栗原 毅 (世田谷区北沢総合支所 デイケア)
- II) 【高齢者分野】「**介護職員のストレスマネジメント～人材育成の視点から**」
講師 小野寺 敦志 (国際医療福祉大学)
- ※研修会についての詳細は日本デイケア学会本部にお問合せください。

- 【施設見学会】 日 時：2012年9月22日(土) 9:30～12:00
会 場：見学会場現地集合
定 員：各コース20名
- ◆Aコース：不知火病院 ◆Bコース：河野医院 ◆Cコース：油山病院
※定員に達したため締切りました。

ポイント取得について 今大会では、日本精神神経学会精神科専門医資格更新にかかるポイントの取得ができます。また、臨床心理士資格更新のためのポイント取得の申請予定です。

-
- 【お問合せ先】 **【日本デイケア学会第17回年次大会福岡大会 運営事務局】**
(株)JTBビジネスサポート九州 ICS営業部内
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35新KBCビル 6F
TEL: 092-751-3244 FAX: 092-751-3250
E-mail: jsdct17@kys.jtb.jp

日本デイケア学会役員

理事長：窪田 彰

副理事長：原 敬造, 松永宏子

理事：浅野弘毅, 五十嵐良雄, 池淵恵美, 榎本 稔, 大森文太郎, 小田良光, 柏木 昭, 加護野洋二, 河野耕三, 熊倉徹雄, 栗原 毅, 坂井一也, 佐々木裕光, 鈴木康一, 関 健, 竹中秀彦, 富澤宏輔, 直江裕之, 仲本晴男, 西村良二, 野中 猛, 藤田 泉, 古屋龍太, 四本かやの

監事：小林暉佳, 弘末明良

事務局長：小野寺敦志

評議員：(地区別, 五十音順)

北海道・東北地区● 浅野弘毅(DR), 熊倉徹雄(DR), 直江裕之(DR), 原 敬造(DR)

関東地区● 五十嵐良雄(DR), 池淵恵美(DR), 榎本 稔(DR), 柏木 昭(PSW), 窪田 彰(DR), 栗原 毅(心理), 野中 猛(DR), 古屋龍太(PSW), 松永宏子(PSW)

中部地区● 坂井一也(OT), 竹中秀彦(PSW), 藤田 泉(DR)

北陸・信越地区● 小田良光(PSW), 鈴木康一(DR), 関 健(DR)

近畿地区● 加護野洋二(DR), 富澤宏輔(PSW), 四本かやの(OT)

中国・四国地区● 大森文太郎(DR)

九州地区● 河野耕三(DR), 佐々木裕光(DR), 仲本晴男(DR), 西村良二(DR)

委員会 (会則第 13 条により、理事長が理事会に諮り設けられた委員会)

組織委員会：古屋龍太(委員長), 榎本 稔, 小田良光, 鈴木康一, 竹中秀彦

広報委員会：松永宏子(委員長), 相川章子, 丹野きみ子, 直江裕之, 仲本晴男, 藤田 泉

研修委員会：栗原 毅(委員長), 井上牧子, 熊倉徹雄, 小谷野博, 坂井一也, 富澤宏輔, 野中 猛

編集委員会：西村良二(委員長), 浅野弘毅, 大沼幸子, 大森文太郎, 荻澤健志, 小野寺敦志, 加護野洋二, 齋藤敏靖, 中野英子, 四本かやの,

査読委員：岩下 覚, 是恒正達, 松田ひろし, 松永宏子, 山中恵子

調査研究委員会：原 敬造(委員長), 五十嵐良雄, 池淵恵美, 河野耕三, 佐々木裕光, 関 健

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL&FAX：03-3813-6368

E-mail：info@daycare.gr.jp URL：http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

入会申込書

(正会員用)

申込日 平成 年 月 日

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
----	--	----	-----	------	----------	---	---	---

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	()
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
所在地	〒		
種別		TEL ()	FAX ()

デイケア従事者(計 名) ※デイケア従事者より会員登録となります。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ